

5. - 7) 検定結果 834 × XSYC (軍鶏合成種 × 交雑種) コマーシャル (CM♂♀) 27年度
 (1) 体重 (表 3・4・5、図 1 参照)

体重は、12・18 週齢を全羽数とし、18 週齢までのその他の週齢を 20%抽出 (20 羽) として測定した。

「834×XSYC」では、12 週齢 (84 日齢) で♂2.9 kg・♀2.2 kg、18 週齢 (126 日齢) で♂3.6 kg・♀2.9 kg という結果となった。また、20%抽出の 10~18 週齢での体重を考慮し、CMの出荷体重を 2.8~3.0 kg と想定した場合、♂で 81~86 日齢程度、♀で 122~129 日齢程度での出荷が見込まれる。

(表 3) <834×XSYC♂> 「CM♂」体重の推移

	0週齢	2週齢	4週齢	6週齢	8週齢	10週齢	12週齢	14週齢	16週齢	18週齢
	0日	15日	29日	43日	59日	71日	84日	98日	113日	126日
平均体重 (g)	38	259	666	1,180	1,937	2,377	2,943	3,391	3,490	3,592
最大 (g)	43	296	734	1,301	2,245	2,665	3,490	3,750	4,015	4,815
最小 (g)	33	230	569	958	1,605	2,175	2,550	2,645	2,640	2,805
標準偏差 (g)	2.7	15.5	37.2	101.3	161.0	134.3	198.1	279.3	393.1	362.9
変動係数	6.99	6.00	5.59	8.59	8.31	5.65	6.73	8.24	11.26	10.10
測定羽数(羽)	20	20	20	20	20	20	98	20	20	93

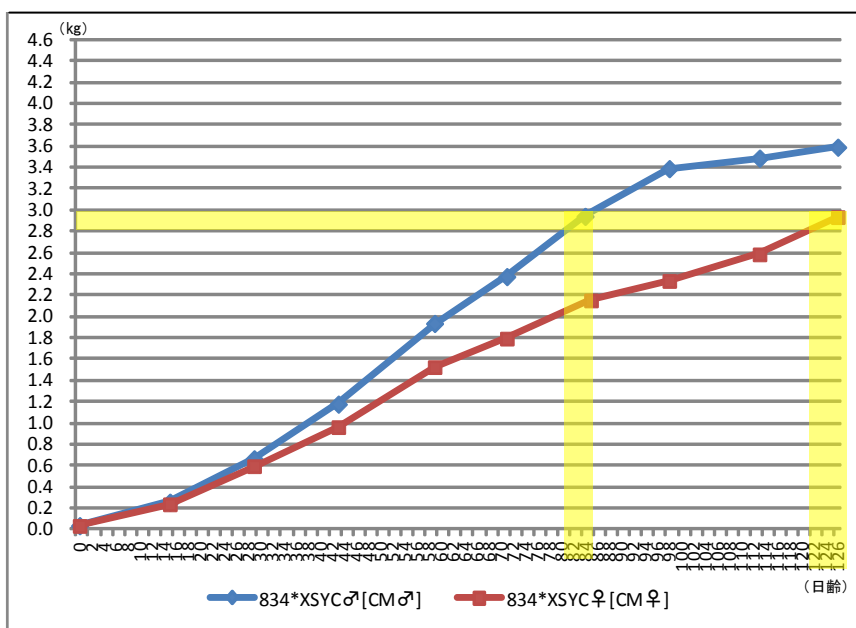
(表 4) <834×XSYC♀> 「CM♀」体重の推移

	0週齢	2週齢	4週齢	6週齢	8週齢	10週齢	12週齢	14週齢	16週齢	18週齢
	0日	15日	29日	43日	59日	71日	85日	98日	113日	126日
平均体重 (g)	37	239	597	964	1,527	1,795	2,153	2,337	2,586	2,936
最大 (g)	43	256	659	1,147	1,820	2,020	2,645	2,690	3,275	3,580
最小 (g)	30	210	533	828	1,210	1,350	1,785	1,870	2,170	2,305
標準偏差 (g)	3.0	12.4	32.6	81.1	139.4	176.5	179.1	214.0	276.2	264.7
変動係数	8.23	5.17	5.46	8.42	9.13	9.83	8.32	9.16	10.68	9.02
測定羽数(羽)	20	20	20	20	20	20	93	20	20	90

※ 上記の表 3・4 における 12・18 週齢の全数測定において、発育不良等により極端に低い体重のものは、異常値として集計から除外した。

(単位: 週、日、kg)

週齢	CM日齢	♂	♀
0	0	0.04	0.04
2	15	0.26	0.24
4	29	0.67	0.60
6	43	1.18	0.96
8	59	1.94	1.53
10	71	2.38	1.80
12	84-85	2.94	2.15
14	98	3.39	2.34
16	113	3.49	2.59
18	126	3.59	2.94



(表 5・図 1) <834×XSYC> ♂♀の平均体重の推移

※ 表 5 の青色部は全羽数、0~10, 14~16 週齢は 20%抽出。

※ 図 1 の黄色部はCM♂♀の見込出荷日齢・体重。

(2) 飼料要求率 (表6・7参照)

CMは不断給餌であり、飼料摂取時の餌溢しが著しく、へい死鶏・淘汰鶏の飼料給餌量も含めた算出とした。

このため、飼料要求率は0～12週齢で「834×XSYC」♂3.2(給餌量:111g/日/羽)・♀3.6(同:90g/日/羽)、0～18週齢で「834×XSYC」♂4.4(給餌量:122g/日/羽)・♀4.7(同:107g/日/羽)となった。

(表6) CM♂♀の0～12週齢(0～84日齢)の飼料要求率

組合せ	性	期末羽数 (羽)	平均体重 (g)	増体量 (kg)	飼料給餌量		飼料 要求率
					(kg)	(g/日/羽)	
834×XSYC	♂	98	2,943	284.4	910	111	3.20
	♀	95	2,153	199.6	720	90	3.61

(表7) CM♂♀の0～18週齢(0～126日齢)の飼料要求率

組合せ	性	期末羽数 (羽)	平均体重 (g)	増体量 (kg)	飼料給餌量		飼料 要求率
					(kg)	(g/日/羽)	
834×XSYC	♂	94	3,592	332.6	1,449	122	4.36
	♀	91	2,936	262.6	1,230	107	4.68

(3) 羽色・外貌特徴

ア 0週齢時(羽色のみ(20%抽出)、図2参照)

羽色は、その組合せの中で多く占めている羽色タイプを順に、羽数をカウントすることとした。

「834×XSYC♂」は、羽色が3タイプあり、羽色タイプⅠ(黒色)が50%(20羽中10羽)、羽色タイプⅡ(白色)が40%(20羽中8羽)、羽色タイプⅢ(淡褐色)が10%(20羽中2羽)を占めた。

「834×XSYC♀」は、羽色が3タイプあり、羽色タイプⅠ(黒色)が55%(20羽中11羽)、羽色タイプⅡ(淡褐色)が35%(20羽中7羽)、羽色タイプⅢ(褐色斑)が10%(20羽中2羽)を占めた。



(図2-1) <834×XSYC♂>「CM♂」の羽色



(図 2 - 2) <834×XSYC♀> 「CM♀」の羽色

イ 18 週齢時 (検定終了時全数: 羽色・外貌特徴、図 3 参照)

「834×XSYC♂」は、羽色タイプⅠ (白色斑) が 48.9% (94 羽中 46 羽)、羽色タイプⅡ (横斑(一部白色)) が 45.7% (94 羽中 43 羽)、羽色タイプⅢ (横斑) が 5.3% (94 羽中 5 羽) を占めた。外貌の特徴は、何れも体型が肉用種型 (コーチン型)、冠は豆冠(80%以上)と単冠が確認され、耳朶色は赤色 (一部白色)、脚色は黄色 (一部分に鉛色が混在) であった。

「834×XSYC♀」は、羽色タイプⅠ (褐色) が 35.2% (91 羽中 32 羽)、羽色タイプⅡ (黒色(頭頸部褐色)) が 29.7% (91 羽中 27 羽)、羽色タイプⅢ (黒褐色) が 24.2% (91 羽中 22 羽)、羽色タイプⅣ (黒色) が 11.0% (91 羽中 10 羽) を占めた。外貌の特徴は、何れも体型が肉用種型 (コーチン型)、冠は豆冠(80%以上)と単冠が確認され、耳朶色は赤色、脚色は黄色 (一部分に褐色・黒色が混在) であった。

< 834×XSYC♂ > 「CM♂」



(図3-1) < 834×XSYC♂ > (CM♂) 羽色タイプⅠの羽色・外貌の特徴



(図3-2) < 834×XSYC♂ > (CM♂) 羽色タイプⅡの羽色・外貌の特徴

「羽色タイプⅢ」

羽色：横斑
割合：5.3% (5羽/94羽)
体型：肉用種型(コーチン型)
冠：豆冠4羽、単冠1羽
耳朵色：赤
脚色：黄(一部鉛色)



(図 3 - 3) <834×XSYC♂> (CM♂) 羽色タイプⅢの羽色・外貌の特徴



(図 3 - 4) <834×XSYC♂> (CM♂) の飼養状況

< 834×XSYC♀ > 「CM♀」



(図3-5) < 834×XSYC♀ > 「CM♀」 羽色タイプⅠの羽色・外貌の特徴



(図3-6) < 834×XSYC♀ > (CM♀) 羽色タイプⅡの羽色・外貌の特徴

「羽色タイプⅢ」

羽色：黒褐色
割合：24.2% (22羽/91羽)
体型：肉用種型(コーチン型)
冠：豆冠13羽、単冠9羽
耳朶色：赤
脚色：黄(一部黒色)



(図3-7) <834×XSYC♀> (CM♀) 羽色タイプⅢの羽色・外貌の特徴

「羽色タイプⅣ」

羽色：黒色
割合：11.0% (10羽/91羽)
体型：肉用種型(コーチン型)
冠：豆冠(全羽数)
耳朶色：赤
脚色：黄(一部黒色)



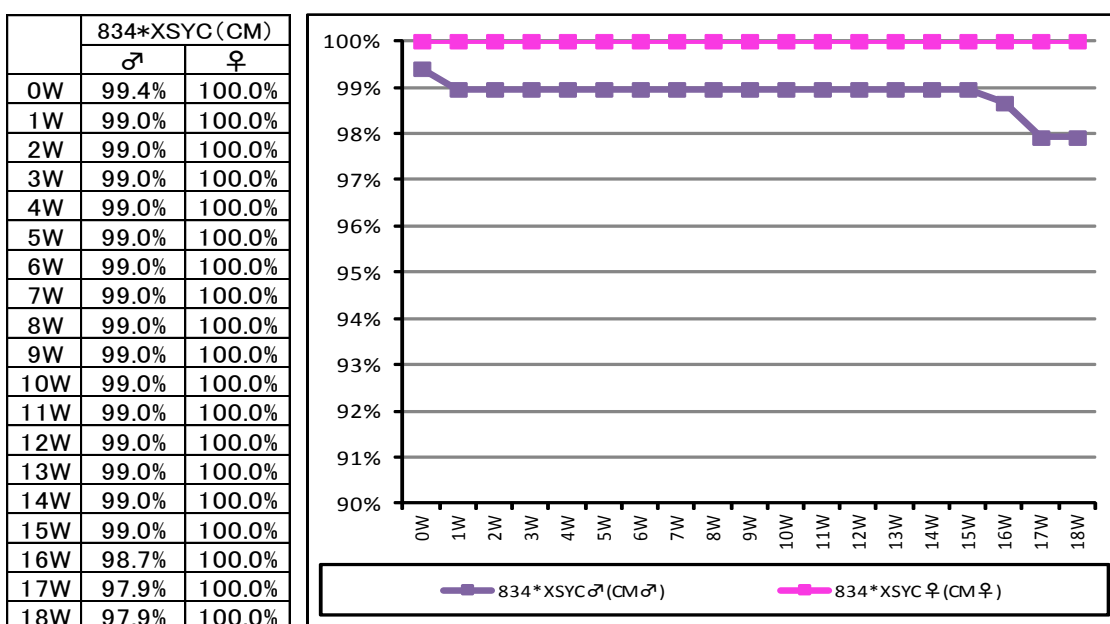
(図3-8) <834×XSYC♀> (CM♀) 羽色タイプⅣの羽色・外貌の特徴



(図 3 - 9) <834×XSYC♀> (CM♀) の飼養状況

(4) 育成率 (表 8・図 4 参照)

<834×XSYC♂♀>では、18 週齢までの育成率が概ね 98%以上であり、見込出荷日齢での育成率は 99%以上と推察される。



※ 日齢毎の育成率を各週で平均化した育成率であることに留意。
 ※ 834*XSYC♂♀は0～126日齢(え付～検定終了日)の育成率。
 ※ 834*XSYC♂♀の18Wは126日齢時(1日間)の育成率。
 ※ 傷病によらない淘汰鶏(誤鑑別・事故死・検査淘汰)は、育成率算出より除外(え付羽数から除外)。

(表 8・図 4) CMの育成率の推移

(5) へい死・淘汰要因 (表9参照)

<834×XSYC♂>では、特に目立った症状はないものの、首曲がり、削そうが発生し、検定終了時までのへい死・淘汰率は2%となった。

「834×XSYC♀」は、検定期間中のへい死・淘汰はなかった。

(表9) CMのへい死・淘汰率 (日齢/羽数)

症状	834×XSYC(CM)			
	♂		♀	
首曲がり	1.0%	(3/1羽)		
削そう(消耗死)	1.0%	(117/1羽)		
計	2.0%	(2羽)	0.0%	(0羽)

※「834×XSYC♂」・「834×XSYC♀」は18W(126日齢:H27/7/13)までのデータとした。

※へい死・淘汰率は、え付羽数から事故死・検査淘汰・誤鑑別を除いたものを補正え付羽数とし、その羽数に対する率。